

令和元年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価

①「農が繋ぐ“まち”地域資源連携推進」プロジェクト

内 容

農業を切り口として、ポテンシャルの高い地域資源（農産物・自然・文化）を繋げ生かす活動を通して、加工業・飲食業・観光事業の各分野が自主的、かつ主体的に地域産業を活性化させる環境を整えるもの。

地域資源の有効活用と持続的な地域活性化を目的とした「(一社)もりや循環型農食健協議会」と市が連携して実施するもので、将来的には、協議会が自立して地域産業と連携した活動を実施していく。

同時に、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）や茨城大学農学部等の協力を得て、先進的な都市近郊農業モデル（アグリアカデミア※）を学び実証できる環境を構築していく。

※将来の新たな農業モデルを経験、習得できる場（圃場での農業実習）

[これまでの実施内容]

●令和元年度

○グリーンツーリズム事業（都市農村交流）

- ・開催回数：9回（田植え、夏野菜収穫、水稻収穫等）
- ・参加者数：289名



（田植え体験の様子）

- ・広告掲載：4回（新そば祭、スイーツ祭、酪農祭）



（イベントの開催案内_TX 中吊り広告）

- ・ガイドマップ作成
40,000部（TXの全駅，市役所等に設置）

【表面】



【裏面】



（市内のグルメガイドマップ）

- ・イメージ映像制作
7本（YouTube, Facebook等で配信）



（市内の各店舗をPR）

○直販販促事業

- ・開催場所：守谷駅西口側広場，さくら坂 VIVACE，みずき野集会所，国体 等
- ・開催回数 44回



(ふるさと都市もりや朝市の開催案内)



(ふるさと都市もりや朝市の様子)



(さくら坂メルカートの様子)



(ふるさとみずき野朝市の様子)

○商品・メニュー開発

- ・開発商品：ヨーグルト饅頭，ヨーグルトマドレーヌ，ヨーグルトプリン，ヨーグルトチーズムース



(ヨーグルトチーズムース)



(ヨーグルトプリン)



(ヨーグルトマドレーヌ)



(ヨーグルト饅頭)

・キッチンカーによる開発商品等の販売



(キッチンカー)

・地産ブックによる開発した商品等のPR
10,000部(掲載店、駅や市役所等に設置)

【表面】



【裏面】



・ブランドブックによる生産者のPR
10,000部(掲載店、駅や市役所等に設置)



	<p>○都市近郊農業モデルの構築（アグリアカデミア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修者数：2名 ・圃場：板戸井地内等  <p style="text-align: center;">（アカデミアの圃場）</p>	
<p style="text-align: center;">事業費 （地方創生推進交付金） ※交付金対象 2 分の 1</p>	<p>○グリーンツーリズム事業（都市農村交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムマップ作成・配布費 904,800 円 ・イメージ映像制作費 999,999 円 ・広告費 713,533 円 ・企業連携イベント開催費 430,230 円 <p>○直販販促事業 0 円</p> <p>○商品・メニュー開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発費 1,409,997 円 ・機能性分析によるブランド向上研究費 2,000,000 円 ・ブランドブック改訂版 750,000 円 ・地産地品・商品の認定と冊子改訂版 1,999,999 円 ・キッチンカーリース費 1,500,000 円 <p>○都市近郊農業モデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリアカデミアの創設運営費 2,552,318 円 （賃料 1,860,000 円，ネットワーク費 692,318 円） ・研修生住宅賃料 615,840 円 ・先進的農法の実証費・講習会費 499,200 円 ・体験農業農園の設置費 698,350 円 （借上げ料 150,560 円，環境整備 547,790 円） <p>総事業費 15,074,266 円（交付金対象 7,537,133 円）</p>	
<p style="text-align: center;">KPI（重要業績指標）</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度(目標値)</p>	<p style="text-align: center;">令和 2 年度(目標値)</p>
<p>イベント等における直販</p>	<p style="text-align: center;">15,300 千円</p>	

の売り上げ	20,815 千円	
都市農村交流人口（グリーンツーリズム参加者数）	285 人	
	289 人	
今後の方針	<p>当該事業が自走し続けられるよう、朝市の開催を広報紙に掲載し続ける。また、守谷市の SNS を活用し、朝市の開催、開発した商品 PR や守谷の農業などを発信し、市内外の方に守谷の食と農を伝え、守谷の魅力を高めていく。</p>	

②「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト

事業期間	平成 29 年度～令和元(平成 31)年度 (3 年間)
内 容	<p>守谷市観光協会（市民ボランティア団体）が作り上げてきた地域資源「守谷野鳥のみち（旧守谷野鳥の森散策路と鳥のみち）」を活用して、将来の地方への永続的な人の流れ（交流人口増加から移住促進へ）やガイドを創出し、持続的な経済効果をもたらす環境を整える。</p> <p>具体的には、行政、企業、市民等の協働作業により、鳥のみち（丸太道）の安全性や快適性を向上させ、つくばエクスプレス等の民間企業と連携して自然体験ツアーを開催する等、守谷の魅力を広域的に発信してきている。</p> <p>[具体事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥のみち（木道）の環境整備（更新） ・イメージアップ・PR 事業 ・つくばエクスプレスと連携した自然体験ツアー ・蛍生息環境の整備 ・ガイド育成の講習会等の開催 <p>[これまでの活動内容]</p>  <p>(守谷野鳥のみち上空 更新された木道 全長 730m)</p>

プロジェクト前（平成13年～平成27年）



プロジェクトの前身となる丸太道が守谷市観光協会，土地所有者，地元中学生，市職員などと協働にて整備した。

●鳥のみち（木道）の環境整備（更新）
プロジェクト始動（平成 29 年～）



更新前



更新後



●イメージアップ・PR 事業



(PR パンフレット)



(野鳥のみち案内板 中央三丁目地内)

RP パンフレット・ガイドマップ，守谷駅からの円滑な誘導を図る案内板を設置した。



※広報もりやによる、「野鳥のみち」の特集

●つくばエクスプレスと連携した自然体験ツアー



(TX中吊り広告による外部PR_平成30年実施)
【協力:首都圏新都市鉄道(株)】



(TX中吊り広告による外部PR_令和元年実施)
【協力:首都圏新都市鉄道(株)】



(平成30年実施_TXウォーキングツアー 参加者約670名)

●ほたる棲息環境の整備



(蛍の棲家づくり_生息環境整備 全長約 30m)

現在も夏頃にはヘイケボタルが飛んでいる様子を楽しむことが出来る。本プロジェクトでは、ゲンジボタルの棲息環境を整えるために石垣を整備した。

●つくばエクスプレスと連携した自然体験ツアー



(ガイド育成講習会の様子)

東村山市などで指定管理者として多くの都立公園の管理をしている NPO 法人よりガイド育成や収益化, イベント運営のノウハウの講習を受けた。

<p>事業費 (地方創生推進交付金) ※交付金対象 2 分の 1</p>	<p>○イメージアップ・プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PRパンフレット 300,000 円 ・ ホームページ運営費 26,877 円
	<p>○TX と連携した自然体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つくばエクスプレス中吊り広告費用 487,300 円

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携ツアー開催費用 21,000 円 ○ 「野鳥の森散策路と鳥のみち」強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木道の環境整備（防腐塗装，消耗品等） 158,686 円 ○ ほたる棲息環境の安定化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境コンサルタント料 50,000 円 ○ 自然環境学習，市民観察会，親子観察会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察会開催費用 167,858 円 <p style="text-align: center;">総事業費 1,093,863 円（交付金対象 546,931 円）</p>	
KPI（重要業績指標）	令和元年度(目標値)	令和2年度(目標値)
	令和元年度(実績値)	
「野鳥の森散策路と鳥のみち」交流人口（ツアー参加者数）	500 人	
	415 人	
雇用創出数（「野鳥の森散策路と鳥のみち」散策ガイド）	3 人	
	3 人	
今後の方針	<p>守谷野鳥のみちが市内外により周知されるように，実施計画に基づき，継続して交流人口の拡大を図っていく。</p> <p>首都圏新都市鉄道（株）等の民間企業と連携し，守谷の魅力である「守谷野鳥のみち」を市内外にPRするとともに，ウォーキングツアーや観察会，小学生等を対象とする環境学習等を実施する。</p> <p>また，隣接する守谷城址の保全と整備を進めており，エリア全体としての拡充していく。</p>	